

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 山東小 学校
校長氏名	栗本 昌彦
作成日	平成 30 年 1 月 23 日

1 教育目標

豊かな情操と知性を身につけ、実践力を持つ心身共に健康な子どもの育成

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中の学校として、地域から信頼される学校づくりを進めるとともに、必要な情報を公開する。 ○地域の文化・人材を活用した幅広い学習をめざし、地域諸団体と連携した学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営の重点として、子どもたち一人ひとりが大切にされ、自尊感情が高められるような指導を推進する。 ○読書に親しみ、心情深く読み取る指導を深める。 ○特別支援教育的視点を大切にした授業や教室経営を心がける。 ○運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、子どもたちの体力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなでささえあい、ひびきあえる学習をめざして」を研究主題とした国語科を中心とした研究を深める。 ○外部からアドバイザーを招き、助言を得ることを通じて教員の指導力を高め、児童の基礎学力の向上を図る。 ○特別支援教育の視点を取り入れた授業改善を推進する。

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりやホームページなどで学校の取組みや様子を地域の方々にも知ってもらえるように取り組んだ。 ○3年生が地域の方々とのふれあい交流会で、昔の遊びなどを教えていただいた。 ○子どもセンター事業において、地域諸団体が輪番で主催事業を実施し、子どもたちにスポーツ、文化的イベントに親しむ機会を提供していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担任は子どもたちのよいところを見つけ、励ましながら心を育めるようにした。 ○図書ボランティアの募集を行い、図書室の整備を支援していただくことにより読書に親しみやすい環境づくりを行った。 ○子どもの生育歴や生活環境等の課題を教職員で共通理解するように努め、専門機関と連携しながら自尊感情を高められる指導・支援に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年ごとの研究授業を計画的に実施し、教育委員会からのアドバイザーに多く授業を見てもらうことに教員の授業力向上に努めた。 ○全国学力・学習状況調査の結果に鑑み、「山東タイム」や放課後の学力フォローアップタイムにより子どもたちの学力補充を行った。
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりやホームページを通じて、学校のことを写真もまじえながら知ってもらえるようにしているが、どれだけの方が読んでいただけているのか把握できていない。 ○3年生のふれあい交流会では、お越しいただいた地域の方々に昔の遊びを主としてさまざまなことを教えていただいた。 ○子どもセンター事業では、さまざまな講師に来ていただき、子どもたちはよい体験をすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級担任は児童に豊かな心を育てよう、成育歴や生活環境等をふまえながら一人ひとりの心育に努めたが、1学級あたりの児童数が多くなりつつあるので、十分育てにくいところもあった。 ○読書を通して豊かな心も育てよう努めたが、新しい書籍を買える予算が少ないので、古い図書が多く残っている。いたんだ本は図書ボランティアの方々のおかげで、使えるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修では、教育委員会からのアドバイザーの先生に年間14回来ていただき、さまざまな助言をいただくことによって教員の授業力向上につながった。課題として、国や県の学力テストのさらなる得点アップにつなげたい。 ○家庭学習にあまり取り組まない子どもたちもめだち、自主学習ノートの活用をよりいっそう進めたい。
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域諸団体や育友会との連携の中で、学校を地域や保護者に知っていただく機会を工夫していく。 ○子どもセンター、見守り隊等、地域の皆さんに対し、子どもたちの感謝の気持ちを表す集会等を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の取組をさらに進めると共に、豊かな心を育む教育課程を再検討し、道徳と特別活動の効果的な指導計画を研究し、実践に移していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、教育委員会からのアドバイザー等外部から講師として来ていただき、子どもたちの学力を向上させるための助言をいただく。 ○全国や県の学力テストの結果分析を進め、弱点補強の取組の方向を明確にして、指導計画・指導方法を改善する。

3 その他の課題

--